

事業計画書

令和 7 年度

施設名 本牧地区センター

指定管理者 株式会社 清光社

1 施設管理に関する基本方針

(1)施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(2)施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

(3)施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(4)施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(5)職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(6)緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(7)施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

2 自主事業に関すること

(1)自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1)稼働率向上に向けた取り組みについて

(2)利用料金収入増に向けた取り組みについて

(3)幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4)その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(1) 施設の管理運営について

① 基本理念について

当社は、市や区のパートナーの指定管理者として、「横浜市地区センター条例」の設置目的や「中区区政運営方針(令和6年度版)」等の関連施策を理解し、施設機能を十分活用し、区民のニーズにこたえられるよう、地区センターの設置目的と区政運営方針への貢献に向けた運営を行います。

地区センターは「住民の福祉を増進する施設」「住民の利用に供するための施設」であり「住民サービスを行うための主要な手段」であることを念頭に置いて、公平公正な運営を軸とし、清潔感のある施設維持、気持ちのよい応対、多様なニーズに対応した自主事業の実施等により、誰もが使いやすいセンターの実現を目指します。

② 予算の執行について

物価高騰を踏まえ、経常経費の支出増を織り込んだうえで、それを吸収すべくコスト削減に取り組みます。併せて月次で利用料収入を把握し、収入と支出の予算乖離状況を管理し、柔軟に対策を実施していきます。また、利用者サービス向上につながる経費に関しては利用者ニーズや対応の緊急性など総合的に検討し優先順位を決めながら適切な費用をかけるようにいたします。

③ サービスのあり方について

リーズナブルな利用料金でご利用いただくために、多数の方で施設利用していただくための基本原則である「原状復帰」作業を担っていただくこと、公平公正な利用ルールを順守していただくことが必須と考えております。その上で安心して気持ちよく施設を利用していただくために私たちは館内の清掃をしっかり行い、危険防止対応を図り、笑顔での応対に努め、ご利用者の満足度が高まるように注力いたします。

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

当センターのある本牧・根岸地区は、高齢者が増加（高齢化率 23.5%）、75 歳以上の単身世帯数が区内で一番多く、子どもの数は減少中ながら、区内他地区に比べ 14 歳以下の比率は一番高いこと、三溪園や本牧山頂公園、横浜市八聖殿郷土資料館など歴史・文化的な資源や緑の拠点に恵まれているという特性があります。地域ニーズの認識としては、本牧エリアの財産である緑、歴史イベントを通して、地域コミュニティの醸成や年少人口比率が比較的高いことから子どもたちが安全で安心して活動できる居場所づくりが求められていると考えています。私たちは地域の諸団体や施設と連携したイベントや事業を展開し、幅広い世代の参加と交流を促す活動に取り組みます。

よりきめ細かな利用者ニーズは、年2回「利用者アンケート」を実施する他、地域連絡会、利用者会議を開催し直接ご意見をいただく場を設けており、その把握に努めております。いただいたご意見ご要望につきましては、当方の回答も合わせてホームページに公表し、しっかりと施設運営に活かす姿勢を表明いたします。

- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

併設の中図書館、オリブ工房とは月次で館長会議を開催し、情報交流と連携に努めております。

また地域の団体とは、例えば「本牧・根岸地区まちづくりの会」主催の区内小中学校の吹奏楽部、市民の吹奏楽団によるスプリングコンサート、本牧山頂公園との連携によるイベント「焼き芋焼けた」、八聖殿館長による歴史講話などを開催しており、引き続き諸団体との連携により発表の場や地域の自然や歴史を知る機会の提供に努めて参ります。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方

「地区センター利用促進ガイドライン」の準拠及び利用者様の視点を踏まえて、的確なサービスの提供に努めるとともに、利用者目線での業務運営により、利用者様の利便性、施設の機能性の向上を図ります。

- ② 施設の利用に関する取扱いについて

地区センター業務全体を利用者の視点に立って分析し、「公平公正の観点」及び「人権への配慮」等の複数の事象を考慮して、事業の適正化を図ります。優先枠や減免については、条例・規則・利用要綱に則り、運用いたします。対象とならない申請は、ルールとその意義を十分に説明し理解を求めます。

また、営利目的、設置目的に反する利用については、的確な説明を行い、理解をいただいた上で利用の制限を行います。

- ④ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

誰もが気軽に相談しやすく、高齢者や障がい者が安心して利用していただくために、職員・スタッフの社内外講習・資格取得支援・多様な施設間交流講習に積極的に参加し、サービス向上に努めます。

また、地域住民のニーズに対応した自主事業を企画・実施することにより、新たな仲間づくりや交流を促します。

- ⑤ ご意見、苦情及び情報公開の取り扱いについて

利用者のご意見・ご要望を多方面で受け取り、改善・反映します。利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くのご要望をお聞きし、収集した情報を分析・評価・検討することにより、実現の可能性を模索し、具現化していきます。

情報公開については、横浜市情報公開制度に即した「本牧地区センター個人情報保護マニュアル」を作成し、広く情報公開を行います。また、情報開示請求があった場合には、横浜市の情報公開規程に則り、「本人・代理人確認」、「開示等受付報告書」による受付、「要求事項への可否審査」等を確実に実施し、個人情報の取り扱いを厳重に行います。なお、利用案内・利用要綱・事業計画・事業報告書等は、地区センター窓口、ホームページ等で、常時、閲覧が可能な状態にします。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(4) 施設の経営に関する基本方針について

① 本年度の運営に関する基本方針について

利用料金収入を基本とし、新たなサービスを企画・実施します。幅広い事業展開を行うとともに、地区センター管理運営方針に即した魅力ある自主事業及びイベント等を開催いたします。

- 地域住民の自主的活動および相互交流を深める場としてのサービスを提供します。
- 公平公正な管理と利用者サービスの向上を図ります。
- 自治体、地域諸施設、自治会、学校他と連携し、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 誰もが参加しやすい自主事業を実施します。
- 不具合箇所の早期発見、早期補修に努め、今後もより快適な施設となるよう館内の設備修復を優先順位をつけて行います。
- 社会的要請に努めます。横浜市が令和4年度全国初の試みとして開始したお薬シート回収に取り組んでいます。また、横浜市の Zero Carbon Yokohama の一環として、令和6年1月より全館 LED 化し、省エネに努めています。

② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

5つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】【ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム】【JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム）】の手法とPDCAを活用し、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化を図ります。

経費節減については、業務内製化による修繕費の削減や備品の点検の実施による延命化などきめ細かな対応の積み重ねにより、コストの増加を抑制いたします。また、他の地区センターや類似施設のベンチマーキングにより、有効な手段を取り入れ、コスト削減を促進いたします。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

環境保全の取り組みとして、「地球環境の保全」という大きな視野に立って対応して参ります。特に、横浜市は「Green Expo 2027」の開催地であり「横浜みどりアップ計画」に沿い、自然に親しむ自主事業の講座・イベントやグリーン購入の促進、緑のカーテンの設置等を推進します。

年間指定管理経費に余剰金が発生した場合は、老朽化設備・備品の更新を積極的に行い、利用者が快適に施設を利用できる環境を整備いたします。さらに弊社が管理する指定管理施設と同様に余剰金の一部を、慈善活動としての寄附又は横浜市の緑化団体等(横浜市協働の森基金、横浜サポーターズ寄附金、横浜市市民活動推進基金等)に寄附し、地域環境の改善に貢献します。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

① 職員の配置及び採用について

令和7年度の職員配置については、令和6年度に補充した体制を維持します。また職員の雇用については、主として地元在住の方の中から弊社の理念及び提案内容にご理解いただける方を採用いたします。採用活動は広報により公募を行い、欠員中は公の施設管理経験がある本社職員又は地区センター就業経験5年以上の職員を配置し、業務に支障をきたさない管理運営を行います。

職員配置

館長	: 1名
副館長	: 2名
コミュニティスタッフ	: 12名
クリーンスタッフ	: 2名

② 職員の研修計画について

研修は、主として職員・スタッフ全員参加可能な休館日に実施します。内容は、個人情報保護、接遇、高齢者理解、安全衛生管理などに加え、消防訓練を実施し、サービスの向上と安全安心な体制づくりを図ります。

③ 個人情報の保護の措置について

「個人情報取扱事業者」として「個人情報保護に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。また、守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。「本牧地区センター個人情報取扱マニュアル」の職員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底します。清光社として「ISO27001 JISQ15001 情報セキュリティマネジメントシステム」を認証取得、本牧地区センターを適用事業所としており、令和6年11月に第3者機関による外部監査を受けており、個人情報等の取扱に関する対応を継続します。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(6) 緊急時対策について

① 防犯、防災の対応について

施設の管理運営においては、施設利用者の事故や施設内での不審者・不審物等の発見、自然災害発生による被害等、さまざまな緊急事態が想定されます。

当施設は不特定多数の方が利用する施設のため、施設内外のリスクの洗い出しや日常巡回の徹底等により事故・犯罪等の発生予防につなげます。施設設備の故障に関しては、定期点検と日常点検による早期発見に努力し、施設管理者である中図書館と連携して早期解決を図ります。具体的には以下のとおりです。

- 施設内外の見回りや、6S活動を引続き推進します。
- 巡回時は設備故障、利用者の事故、不審者等の早期発見に努めます。
- 忘れ物や盗難等にも注意を払い、注意喚起の掲示を行います。
- 巡回中に設備等の故障を発見した時は利用者への危険性に応じて迅速に補修や安全対策を行います。
- 施設巡回や点検・清掃作業時に気づいた点は、毎日の業務日報に記載し、早期改善を図ります。

② その他緊急時の対応について

(ア) 初動対応

利用者の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市及び中区担当窓口への連絡、災害時のレベルに準拠し指定管理者職員および勤務時間外職員の招集を行い、救援活動拠点機能を確保します。年2回消防訓練（通報、初期消火、避難誘導、AED 操作等）を実施いたします。

(イ) 二次災害の防止

建物・構築物の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。

(ウ) 救急救命スキルの維持

横浜市消防局の方にご指導頂き、職員及びスタッフ全員が「救急救命講習」を受講しました（令和2年8月）。令和5年7月に全員が資格更新講習を受講し、今後も継続的に技術の向上を図ります。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

(7) 施設の保全について

施設維持管理の主体者である中図書館と連携し、緻密な業務計画を策定・実施します。また、詳細な記録及び調査を行い、確実な業務改善を実施します。

① 建物・設備等の保守点検について

不具合箇所の早期発見・早期補修により設備機器の長寿命化・エネルギーコストの削減を実施します。また、日常点検時・定期点検時において発見された不具合については、必ず臨時補修を施し、安全性を確保いたします。

なお、機器の安全性・経済性を考慮した結果、建築物並びに機器の更新が必要な場合には、中区地域振興課並びに施設管理者である中図書館のご担当者と協議を行います。

② 清掃業務について

常に快適な状態を確保できるよう、6Sを徹底するとともに、乳幼児や高齢者、障がい者の視点に立って施設内を点検し、清掃管理の改善を行います。日常清掃を実施することで、衛生美観の長期維持を図ります。トイレ等は特に、伝染病等の感染リスク低減のため除菌清掃の徹底を図ります。インフルエンザやノロウイルス感染の原因になる嘔吐物に関しては、迅速に処理を行い、拡大を防止するとともに、流行時には希釈した塩素系溶液にて清掃を行い拡大予防に努めます。入口でのアルコール消毒液の常設を継続します。

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

① 自主事業について

近隣の施設と連携するとともに、地域住民をはじめとした人と人との交流を育み、つながりを深める拠点としての役割を果たすとともに、横浜市中期計画基本戦略「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」、横浜みどりアップ計画・GREEN×EXPO2027 開催に向けた周知や、自分事としてとらえる防災・減災への意識づけ提案。お及び、中区の目指す姿「オール中区」の一翼を担うことを目標に、自主事業運営を行っていきたいと考えます。

② 自主事業の運営方法について

地域住民の自主的活動の援助及び新たな地域コミュニティの創造、地域住民の相互交流、地域課題の解決を目的として開催し、講師はできる限り地元に住む方に依頼をします。また、近隣施設と連携することにより、少額の参加費で魅力ある自主事業を計画し、年齢・性別を考慮した幅広い層が参加できるよう実施します。また既存団体・サークルの自主的活動及び相談・広報支援を行い、幅広い活動のサポートを行うとともに、地区センターで実施する自主事業を協働で行い、新たなコミュニティ創造の可能性を模索します。本年度は、プレイルームリニューアルを踏まえ、プレイルームでのよみきかせや子育て相談を継続するとともに他の部屋での子育て支援事業を実施いたします。また、GREEN×EXPO2027を踏まえた連携事業も実施いたします。

④ PRの強化について

アンケートで情報認知媒体として館内表示が多かったこと、来館者数が増加トレンドにあることを踏まえ、館内での情報発信を継続的に実施するとともに、以下のPR活動に取り組めます。

- ・季刊情報誌として年4回、地区センターだよりを発行。
- ・よこはま市報、中区版に毎月自主事業情報等を掲載。
- ・ホームページには、事業お知らせチラシを作成し早めに周知。
- ・町内連合会に会合に合わせチラシを持参し町内掲示板・町内会回覧板を通じての地元住民への周知依頼。
- ・共催事業等は進んで他施設への配架依頼を行ったり、大型イベントの際にはタウン情報紙に掲載依頼。
- ・夏休み等の長期休暇中の講座や学生が対象の事業の学校を通しての告知。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(目標 稼働率 コマベース 53%、時間ベース 48.5%)

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(目標 利用料金収入 4,100,000 円)

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

令和6年度稼働率は、令和5年度の優先制度見直しによる落ち込みから回復しつつあり、令和7年度は、ネット予約の更なる定着化と支援、自主事業の事後サークル化促進等に取り組む、稼働率の向上を目指します。

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

令和6年度利用料金収入目標着地見込 4,067 千円に対し、4,112 千円を実現します。

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の取り組みについて

「子育て支援」「シニア支援」「青少年育成」「環境保全」等の地域の課題を改善するための自主事業を展開するとともに、「異世代交流」「異文化交流」の場を提供し、地域の解決に結びつけます。横浜みどりアップ計画関連の事業も継続して実施いたします。

例年実施している、子育て支援事業やシニアの健康・生きがいづくり、また子どもから大人まで楽しめる吹奏楽コンサート、読書の日イベント、各種料理講座、小中学生を対象としたわんぱく事業等、地域の方々に講師にお迎えし、誰でもが参加しやすい講座も継続して開催します。

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

提案内容を精査し、目標達成を意識した進捗管理を行います。利用要綱が変更になる案件に関しては、地区センター委員会及び利用者会議に諮り、計画を推進いたします。

■地区センターまつりの継続実施

令和5年11月に4年ぶりに地区センターまつりを再開、令和6年度も引き続き実施し、大変好評だったことから、本年度も更に多数の方にご来場いただけるように好評催しの継続と改善を図ります。

■その他大型イベントの実施

大型のイベントとして、地区センターまつりに加え、ウィンターコンサート、スプリングコンサート開催の他、本牧かぼちゃまつり、ライトアッププロジェクト等への参画により、当センターへの来場を推進します。

以 上

横浜市本牧地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 清光社

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
防災・減災講座	どなたでも						
	50						
	500	31,000	6,000	25,000	10,000	20,000	1,000
横浜みどりアップ計画 市民が森に関わる きっかけづくり事業	子ども～大人						
	100						
	500	170,000	120,000	50,000	50,000	70,000	50,000
活動団体・地域・施設連携 作品展示・文化祭	どなたでも						
	0	5,000	5,000	0	0	5,000	0
地域・施設連携 蝶の不思議を知ろう プロジェクト	小学生～一般						
	15						
	500	16,000	8,500	7,500	10,000	5,000	1,000
レディース脳トレ麻雀	一般 女性						
	96						
	6,500	625,000	1,000	624,000	550,000	20,000	55,000
大人の学び直し講座 古典文学・地元の歴史	一般						
	120						
	300	37,000	1,000	36,000	20,000	15,000	2,000
高齢者いきいき支援 ヴォイストレーニング 懐かしのあの頃の歌を	一般						
	700						
	400	363,000	83,000	280,000	330,000	0	33,000
高齢者いきいき支援 スマホ・マナー・終活	一般						
	20						
	500	32,000	22,000	10,000	20,000	10,000	2,000
健康づくり講座 サークル体験講座 気功・フラダンス・元気ダンス	一般						
	60						
	500	35,000	5,000	30,000	0	30,000	5,000
各健康づくり講座 ピラティス・ヨガ・坐禅 体の歪み・痛み解消体操	一般						
	60						
	1,000	66,000	6,000	60,000	60,000	0	6,000
各子育て支援事業 リトミック・手話ソング 子育て相談	子どもと保護者						
	100						
	400	54,000	14,000	40,000	40,000	10,000	4,000
キッズダンス	小学生						
	30						
	2,500	77,000	2,000	75,000	70,000	0	7,000
朗読ミュージカル	どなたでも						
	25						
	5,000	132,000	7,000	125,000	120,000	0	12,000
わんぱく事業 お絵描き・クラフト 手品・カードゲーム	子ども						
	50						
	200	22,000	12,000	10,000	20,000	0	2,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
わんぱく事業 森の恵みで音楽会	子ども						
	30						
	500	22,000	7,000	15,000	20,000	0	2,000
地域・施設連携 ライトアッププロジェクト 本牧かぼちゃまつり	どなたでも						
	300						
	0	10,000	10,000	0	0	10,000	0
地域・施設連携 焼き芋焼けた&森のクラフト	どなたでも						
	50						
	500	41,000	16,000	25,000	10,000	30,000	1,000
活動団体協力事業 おもちゃの病院	どなたでも						
	80						
	0	11,000	11,000	0	10,000	0	1,000
親子料理教室	親子						
	20						
	500	15,500	5,500	10,000	5,000	10,000	500
成人向け料理教室 みゆき先生の幸せレシピ 味噌作り・出会いキッチン	一般						
	60						
	1,500	116,000	26,000	90,000	60,000	50,000	6,000
子ども向け料理教室 おやつ作り・防災ランチ	子ども						
	40						
	500	32,000	12,000	20,000	20,000	10,000	2,000
地域・施設連携 なか区スタンプラリー ぶらりHONMOKUスタンプラ リー	どなたでも						
	1,000						
	0	10,000	10,000	0	0	10,000	0
活動団体協力事業 読み聞かせ	親子						
	50						
	0	33,000	33,000	0	30,000	0	3,000
日本伝統伝承講座 茶道・書道・着付け	一般						
	30						
	1,000	49,000	19,000	30,000	40,000	5,000	4,000
GREEN×EXPO2027PR事業 植物について学ぶ 季節の寄せ植え	一般						
	25						
	1,000	26,000	1,000	25,000	5,000	20,000	1,000
アート&クラフト(GREEN× EXPO2027PR事業を中心に)	一般						
	24						
	2,000	52,000	4,000	48,000	20,000	30,000	2,000
各アート&クラフト スケッチで旅をしましょう 着物リメイク	一般						
	20						
	2,000	65,000	25,000	40,000	50,000	10,000	5,000
なか区民活動センター 連携事業 なか区街の先生 オープン講座	一般						
	10						
	500	10,500	5,500	5,000	5,000	5,000	500
施設連携 本牧X	一般						
	15						
	300	5,000	500	4,500	0	3,000	2,000

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
本牧地区センターまつり	どなたでも						
	1,000						
	100	122,000	22,000	100,000	20,000	100,000	2,000
地区センターまつり フリーマーケット	一般						
	15						
	1,000	15,000	0	15,000	0	15,000	0
利用団体連携コンサート	どなたでも						
	200	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
合 計		2,300,000	500,000	1,800,000	1,595,000	493,000	212,000

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
防災・減災講座	【目的】	日々の生活の中で「いざという時に生かせる」備えや知恵を学びます。 	9.1月 2回
	【内容】	小学生向けに「キッズ防災ランチ」「防災ランチ（お湯ポチャレシピコンテスト）・一般向けには「風呂敷活用術」や「地域防災の初めの一歩」など手軽に始められる防災・減災についての講座を実施します。	継続事業 地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
横浜みどりアップ計画 市民が森に関わる きっかけ作り事業	【目的】	大都市でありながら多くの樹木林や農地などを有する横浜。この緑豊かな地を次世代に引き継ぐために市民が横浜の緑・まち・未来を考えるきっかけを様々な企画で提案します。 	4月～3月 10回
	【内容】	一番身近な森である山頂公園で「森林ヨガ」や「焼き芋焼けた」「大人の森遊び」等で森の恵みを満喫します。横浜市の取組みを周知「横浜市民の森への大人の遠足」実施します。	環境保全 継続事業

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
活動団体・地域・ 地域連携 作品展示	【目的】	地区センターならではの立地を生かし、日頃の活動の成果発表の場を共催事業としても提供。季節を感じる飾り付け等で願い事等を募ります。展示を通じ地域交流の一端を担います。 	4月～3月 30回
	【内容】	ピロティ市民ギャラリー・ロビーショーケースで各団体や近隣小学校の作品展示。スペースを活用したメッセージボード「さくらメッセージ」「七夕 短冊に願いを込めて」等を設置します。	継続事業 地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
蝶の不思議を知ろう プロジェクト	【目的】	翅の模様が鮮やかな大型の蝶で、長距離を移動する「旅する蝶～アサギマダラ～」を山頂公園に！を目標に草花や生態を知り身近な自然の実態と維持を再確認します。 	4～10月 3回
	【内容】	蝶の生態や食草の学びの講義は当館で。草花の整備や育成は山頂公園（公園愛護会の活動含め）で。それぞれの施設の特性を生かし長期的な計画でアサギマダラを呼ぶプロジェクトを始動します。	地域交流 環境保全

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
レディース脳トレ 麻雀	【目的】	麻雀を通じて脳の活性化（脳トレ）と健康と生きがい作り・仲間づくりをサポートします。事後サークル設立やゆくゆくは子ども達とのゲームで異世代交流も図ります。	4～3月 20回
	【内容】	女性初心者限定。牌の種類や名称・ゲームについて・牌の組み合わせ等 丁寧に繰り返し行うプログラムで学びます。相手の出方を推理したり、手や指を動かすことで脳の活性化を促します。今年度は一部サークル化を目指します。	シニア支援 健康増進 異世代交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
大人の学び直し講座 古典文学に親しむ	【目的】	生涯にわたって様々な見識を得ることにより、住民一人一人が生き生きと豊かな暮らしを育む事業を展開し、何かを始めるきっかけ作りを意識した学び講座を実施します。	6～3月 10回
	【内容】	古典文学・語学・科学・歴史など 時間の余裕が出来た今だからこそ始める。「奥の細道」「拾遺和歌集」を学びます。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
大人の学び直し講座 地元の歴史を知る 「本牧四方山夜咄」	【目的】	生涯にわたって様々な見識を得ることにより、住民一人一人が生き生きと豊かな暮らしを育む事業を展開し、何かを始めるきっかけ作りを意識した学び講座を実施します。	4月～3月 12回
	【内容】	古典文学・語学・科学・歴史など 時間の余裕が出来た今だからこそ始める。知っているようで知らない地元の歴史。過去の歴史と現在の本牧が繋がる講座です。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
高齢者いきいき支援 ヴォイストレーニング	【目的】	健康と深い関わりがある発声。喉に負担をかけずに通る声を出すコツをヴォイストレーナーから学びます。意識を少し向けてあげること、ストレス解消をはじめとして、脳の活性化や認知症予防、健康増進を目指します。	4月～3月 36回
	【内容】	声を出しやすくするための簡単ストレッチや発声練習、季節の1曲を歌う1時間（今年度より時短45分から1時間へ変更）喉を鍛えるトレーニングとしてもお勧めです。	シニア支援 健康増進

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
懐かしいあの頃へ 一緒に唄いましょう	【目的】	一つの曲をみんなで歌うことにより連帯感や共感を味わう。ストレス解消・脳の活性化、健康増進。歌を通じて地域での交流を深めます。	4月～3月 12回
	【内容】	懐かしの昭和歌謡を生ギターの演奏で歌います。リクエストカード等を使って参加定着（講座定着・サークル化）を目指します。	シニア支援 健康増進 地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
高齢者いきいき支援 初心者スマホ講座	【目的】	スマートフォンで何ができるのか。使いこなすと何が便利なのか？料金は？日常生活で安心して使う為に実施します。	9月、10月 3回
	【内容】	月毎にテーマを決めて行う講座と参加者の質問（わからない操作・解り難い操作）に対応する講座を繰り返し行います。今年度はボランティアサポート対応も行い、より分かりやすいを目指します。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
高齢者いきいき支援 マネー講座 税務相談	【目的】	自分と家族を守る。安心して老後を迎える為の準備として実施します。	2月 1回
	【内容】	相続・終活など、気になる税務に関する様々な疑問やお困りごとを、それぞれのプロ（税理士・会計士・司法書士）から法制度を学びます。個別相談の機会も設けます。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
健康づくり講座 サークル体験	【目的】	無理なく今ある筋力を維持する・毎日を健やかに過ごす・健康寿命を延ばすための運動を中心に各講座を実施します。	7～12月 10回
	【内容】	基礎体力を付ける・コアの筋肉を鍛える。運動習慣の無い方に興味を持って頂ける様な講座や地区センターで活動中のサークル活動を紹介・体験してもらい定期的な運動習慣を身につけて頂きます。	シニア支援 健康増進

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
健康づくり講座 お仲間づくり サークル化を目指して	【目的】	無理なく今ある筋力を維持する・毎日を健やかに過ごす・健康寿命を延ばすための運動を中心に各講座を実施します。 	4～8月 5回
	【内容】	基礎体力を付ける・コアの筋肉を鍛える。運動習慣の無い方に興味を持って頂ける様な講座を実施。仲間づくりサークル化を目指します。体幹を意識してピラティス・体の歪み、痛み解消体操等。	シニア支援 健康増進

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
親子でリトミック	【目的】	親子で音楽（リズムや音）見たり・聴いたり・触れたりしながら、子どもの好奇心・集中力・判断力・表現力・音楽的感性を養うきっかけ作り講座。 	5月～3月 4回
	【内容】	季節や気候に合わせたテーマで実施します。リズムに合わせて体を動かす楽しさや親子のふれあいタイムで健やかな成長の一助を担います。実施日を日曜日に設定し職場復帰のママやパパの参加も促します。	子育て支援 地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
ママフィットネス	【目的】	日々子育てに奮闘する保護者の方へ、心身ともにリフレッシュ出来る時間を提供する子育て応援の講座です。 	10～12月 4回
	【内容】	産後の運動不足解消。体のコリや肩・腰等の痛みの不調を予防・改善します。ママと赤ちゃん抱っこでダンスなどスキンシップも図ります。	子育て支援 健康増進

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
おやこで手話ソング	【目的】	幼いころから感情表現（相手に気持ちを伝える）や認知機能の向上の手段として楽しく手話を体験して貰います。 	10～3月 3回
	【内容】	ボディランゲージ。身体を使って表現する楽しさを体験。母の日などの行事に合わせて実施。行事や季節に合わせた曲を選曲します。子育て世代家族参加を促します。	子育て支援 地域交流

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

事業名		目的・内容等	団体名	株式会社 清光社
			実施時期・回数	
子育て相談	【目的】	出産前後の不安や子育てに関する様々な悩み等の相談を行います。ママ同士の交流の場を創出することで、子育ての孤立感と負担の軽減を図ります。		4～3月 40回
	【内容】	新米ママ・パパ（お母さん・お父さん）たちの子育ての悩みにアドバイスや保護者間の交流を図ります。		子育て支援 地域交流

事業名		目的・内容等	実施時期・回数
キッズダンス	【目的】	元劇団四季俳優の楽しい指導で、子どもたちのやる気を引き出します。最終回は「本牧地区センターまつりステージ発表」で締めくくります。	10～11月 6回
	【内容】	豊かな表現力やリズム感が身につくダンスレッスンです。音楽に併せて自然に身体が動くように、身体を動かす楽しさを提案します。	子育て支援 健康増進

事業名		目的・内容等	実施時期・回数
朗読ミュージカル	【目的】	元劇団四季の俳優の指導の元、身体と声を使って表現する楽しさを体験。最終回は「本牧地区センターまつりステージ発表」で締めくくります。	10月11月 6回
	【内容】	誰でも気軽に参加できるミュージカルを目指します。絵本や童話を題材とした創作ミュージカルを実施します。本読みサークルも参加することによって発声のコツを学んだり、小学生から大人まで一緒にレッスンを通じて物語を創り上げる貴重な体験を提供します。	子育て支援 異世代交流

事業名		目的・内容等	実施時期・回数
わんぱく事業 体験マジック カードゲーム	【目的】	子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。表現力や創造力等の感性を刺激して子どもの成長を促します。	8月 3回
	【内容】	夏休み期間を有効活用し、子ども達の表現力や創造力を刺激した体験型マジック講座やカードゲーム講座を開催します。	青少年育成

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

事業名		団体名	株式会社 清光社
事業名	目的・内容等		実施時期・回数
わんぱく事業 お絵描き教室	【目的】	子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。表現力や創造力等の感性を刺激して子どもの成長を促します。	7月 1回
	【内容】	講師の指導のもと、絵を描くことで子ども達の感性の豊かさを育みます。	地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
横浜みどりアップ計画 わんぱく事業 夏休み工作教室	【目的】	子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。小学生のうちから「手づくり」の良さ・楽しさに慣れ親しむ機会を作ります。講師やお友達とコミュニケーションをとりながら創造力を育てます。	7～8月 2回
	【内容】	横浜市の森から排出された間伐材や山頂公園で集めた木々の枝や葉っぱを使い、子ども達の表現力や創造力を刺激して工作を行います。	地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
横浜みどりアップ計画 わんぱく事業 森の恵みで音楽会	【目的】	子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。小学生のうちから「手づくり」の良さ・楽しさに慣れ親しむ機会を作ります。講師やお友達とコミュニケーションをとりながら創造力を育てます。	10月 1回
	【内容】	山頂公園を散策して集めた枝や木の実。毛糸や鈴・プルトップを使い楽器を作り、様々な音を楽しみます。子ども達の表現力や創造力を刺激します。	地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
地域・施設連携 つながる本牧つなげる 未来へライトアップ プロジェクト	【目的】	神奈川県無形民俗文化財「お馬流し」の兼行に合わせて実施。地域の伝統ある行事に参加する意識を高め、未来への願いを込めて子どもたちと街の一体感を育みます。	7～8月 1回
	【内容】	「お馬流し」を知らない子どもたちも多く八聖殿郷土資料館館長から本牧神社についてお話頂き、地域の伝統行事を次世代に身近に感じ引き継ぐ為にも参加しやすいペットボトルランタンワークショップを行います。	青少年育成 地域交流 文化伝承

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
わんぱく事業 地域・施設連携 本牧かぼちゃまつり	【目的】	地域の商店が主体となり、本牧の歴史に新たなお祭りが生まれ回を重ねています。本牧らしさをアピールするとともに街への愛着も深めます。	10月 1回
	【内容】	仮装&スタンプラリー「本牧かぼちゃまつり」を開催。当館では関連事業（料理教室・菓子作りやマスコット作り）を実施し雰囲気盛り上げます。当日はスタンプ拠点として参加します。	青少年育成 地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
わんぱく事業 地域・施設連携 焼き芋焼けた&森の恵みのおもちゃ作り	【目的】	本牧山頂公園はじめ、キャンプの出来る広場管理スタッフ協力のもと、落葉拾い・焚火・焼き芋・ゲーム・工作等を行い、自然の中で地域の子どもたち・親子の交流を深めます。	11月 1回
	【内容】	地区センターから本牧山頂公園キャンプの出来る広場に落ち葉拾いをしながら向かいます。集めた落ち葉と釜を使用して焼き芋を作ります。深まりゆく秋を感じる事業です。横浜みどりアップ計画も採り入れ親子に森を身近に感じるおもちゃ作りや遊びを提案します。	青少年育成 地域交流 環境保全

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
活動団体協力事業 おもちゃの病院	【目的】	物（おもちゃ）の仕組みを知ること物作りの素晴らしさや難しさを理解し、物を大切にすることを育みます。	5～11月 3回
	【内容】	「中区おもちゃのドクターネットワーク」の皆さんに協力頂き、壊れたおもちゃを修理。壊れた原因や質問にも対応します。	青少年育成 環境保全

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
親子料理教室	【目的】	子どもと保護者を対象とした料理教室。食の大切さを調理を通じて伝えます。	12月 1回
	【内容】	季節やイベントを意識した調理を主におやつやご飯作りを実施。管理栄養士の指導。栄養素についても学びます。	食育 青少年育成

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
わんぱく事業 料理教室	【目的】	子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。調理を通じ食生活の重要性や栄養について学びます。 	7～8月 2回
	【内容】	連休や夏休み期間を有効活用し、お菓子づくりや防災食作（お湯ポチャ調理・お湯ポチャレシピコンテスト等）に取り組みます。	食育 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
成人向け料理教室	【目的】	料理のレパートリーや知識を増やす。仲間を増やす。健康な身体作りを目指す。料理室利用の活用、周知を含めて様々なテーマで料理教室を開催します。 	4～3月 4回
	【内容】	初心者でも楽しみながら調理できるレシピを学びます。季節のイベントに合わせた献立、おもてなしの献立。和洋中そしてお菓子とバラエティにとんだ献立で実施します。味噌作り・みゆき先生のしあわせレシピ・男の料理教室等。	地域交流 健康増進

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
中高生向け料理教室	【目的】	初心者でも楽しみながら調理できるレシピを主に道具の使い方や栄養素・献立の立て方など料理の基本について学びます。 	10～3月 2回
	【内容】	講師からのアドバイスを受けながら、自分たちで自主的に献立を考えて調理する出来るようになる。を目標に実施します。	食育 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
出会い場キッチン	【目的】	食を通じて出会う。始めまして！からお馴染みさんに！ 様々な料理のレパートリーを披露し合いながら交流を深めます。 	11～1月 2回
	【内容】	お料理が苦手な方も得意な方も。これからお料理を始めてみようと思っている方にも、自宅のキッチン代わりに気軽に料理室を使って貰えるよう企画します。	地域交流 異世代交流

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
地域・施設連携 なか区スタンプラリー	【目的】	中区民利用施設：多くの方に中区内の施設を知って頂く機会を創出します。企画段階から積極的に参加し、より成果のある企画に協力します。ぶらりHONMOKU：本牧方面の施設連携事業、地元をよりよく知って頂くきっかけ作り。	4～11月 2回
	【内容】	各施設が集中する本牧の立地を生かし、中区主体のスタンプラリーを基に本牧地域限定で実施します。知っているようで知らなかった本牧の施設を訪ねる機会を提供（ぶらりHONMOKUスタンプラリー）	地域交流 異世代交流 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
活動団体協力事業 おはなし会 読み聞かせ&クラフト	【目的】	絵本等の読み聞かせによって子どもたちの心の育成、想像力等の感性を養います。自主事業「読み聞かせ養成講座」、受講修了者「本もく座」の実践講座	5～3月 5回
	【内容】	「本もく座」による和室でのおはなし会。日本古来の行事・暦をテーマとした絵本の紹介や読み聞かせ・紙芝居・歌（童謡）やセタや節分はクラフト（簡単こうさく）も実施します。	地域交流 異世代交流 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
活動団体協力事業 定期開催おはなし会 ちょっと怖いお話し会& 肝試し	【目的】	未就学児と保護者を対象とした絵本の読み聞かせ・手遊び・わらべ歌。小学生向けのおはなし会等で、幼いころから言葉の響きやリズムを楽しみ、本に興味を持つきっかけ作り。	5～10月 4回
	【内容】	絵本読みボランティアグループ「えほんの森」によるプレイルームでの幼児向け、絵本の読み聞かせ・わらべ歌等、定期開催の「こぐまの部屋」。小学生向け、夏休み怖いおはなし会&暗闇探索の肝試しなどを実施。	地域交流 異世代交流 青少年育成

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
地域・施設連携 なか区ブックフェスタ	【目的】	中区読書推進事業の協力を得て、平成28年にスタート。本離れが進む今だからこそ本に出会い、触れる機会を中区から発信します。	10～11月 3回
	【内容】	「本」をキーワードに「絵本の読み聞かせとコンサート」「絵本作り」等 多様な仕掛けで「本」に親しむきっかけ作りを提供します。読み聞かせボランティア養成講座も実施します。	青少年育成 地域交流 異世代交流

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
日本伝統伝承プログラム 書道	【目的】	生活の中に根付いていながら成り立ちを知らず、形式だけになっている日本の文化・伝統を改めて基礎から学びます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀や相手を気遣う心も学びます。	10～12月 4回
	【内容】	写経・ペン習字等。小筆を使い一文字一文字、丁寧に。心静かに書と向き合う時間も大切に、バランスの良い文字を書く習慣のきっかけ作り。	文化伝承 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
日本伝統伝承プログラム 茶道	【目的】	生活の中に根付いていながら成り立ちを知らず、形式だけになっている日本の文化・伝統を改めて基礎から学びます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀・相手を気遣う心も学びます。	10～2月 5回
	【内容】	初めてのお茶。お茶立てや立居振る舞い基本動作を学びます。講座を通じて和室の良さを感じて頂きます。	文化伝承 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
日本伝統伝承プログラム 和装	【目的】	生活の中に根付いていながら成り立ちを知らず、形式だけになっている日本の文化・伝統を改めて基礎から学びます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀・相手を気遣う心も学びます。	10～2月 5回
	【内容】	初心者には浴衣から、和装（着付け）の魅力やマナー・着付けのコツについても学べる内容。利用団体（サークル）体験も含め実施します。	文化伝承 生涯学習

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
GREEN×EXP02027 PR事業 植物について学ぶ 寄せ植え	【目的】	2027年に開催される横浜国際園芸博覧会をより多くの方に知って頂く、自然や植物に関心をもって貰う講座を実施します。	10～12月 2回
	【内容】	花屋さんの店先が地区センターに！思い通りに花々を選びバランスよく寄せ植えします。長持ちさせるコツや植え替えのタイミング等のアドバイスをプロから学び完成させます。植物に興味を持つ、身近に感じるきっかけ作り。	環境保全 生涯学習

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
GREEN×EXP02027 PR事業 アート・クラフト (花をテーマに)	【目的】	手間暇かけて作り上げる手作りの良さ・楽しさを再確認。2027年に開催される横浜国際園芸博覧会をより多くの方に知って頂く、花をテーマに講座を実施します。	 8～2月 5回
	【内容】	絵画（水彩画で薔薇を描く）写真（花を美しく撮るヒント）クラフト（ペーパークイリングで春の草花）等 花や植物の魅力について再確認します。	
			生涯学習
			シニア支援
			地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
アート・クラフト	【目的】	手間暇かけて作り上げる手作りの良さ・楽しさを再確認。新しい発見を提供します。様々な物作りを通じて共通の趣味を持つ方の仲間づくり。サークル設立の誘導も行います。	 12～2月 3回
	【内容】	絵画（水彩画、デッサン等）手芸（キルトや着物リメイク）で、実用品や季節を彩る飾り等を作ります。連続講座も実施し、作品作り・物作りを通じて地域の仲間作りの一端を担います。	
			生涯学習
			シニア支援
			地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
なか区民活動センター 連携事業 なか区街の先生 オープン講座	【目的】	なか区民活動支援センター協力のもと、人材ボランティアの活躍の場の提供し、区民への周知を図ります。	 9月 1回
	【内容】	様々なジャンルで登録されている人材を活用し、多様な体験のきっかけ作りを実施します。	
			生涯学習
			地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
近隣施設連携 本牧X	【目的】	公共施設はもとより、知っているようで知らない本牧の魅力を多方面から探ります。シリーズを重ね本牧のみならず中区・近隣区、西区や磯子区についても見地を深めます。	 5～3月 3回
	【内容】	連携施設でもある横浜市八聖殿郷土資料館館長の座学や街歩き。一人では中々 訪ねる機会がない場所へも出向き、本牧通（ファン）を増やします。	
			地域交流
			生涯学習

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
本牧地区センター まつり&フリーマーケット	【目的】	施設を開放し、団体・個人の多くの方々に秋の一日を楽しみながら施設について知って頂く機会を創出し、新しい出会いや発見の場を提供します。 	11月 1回
	【内容】	利用団体の発表の場としてステージや展示コーナー、子ども縁日（魚釣り・射的・輪投げなど）、横浜みどりアップ計画やGREEN×EXP02027PRコーナー（間伐材ワークショップなど）フリーマーケット（不用品や手製の品などを持ち寄り有効活用する場）住民同士の交流も期待し実施。	異世代交流 地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
活動団体協力事業 コンサート	【目的】	住民の方に向けた日頃の活動の成果発表の場を共催事業として提供。定期開催で住民の方々にも好評です。身近な会場で気軽に本格的な音楽を楽しんで頂き地域交流の一端を担います。 	6.12月 1回
	【内容】	音楽室での初夏の名曲コンサート・体育室でのウインターコンサート等で地域の皆様に気軽に音楽を楽しんで頂ける企画を開催します。	地域交流 社会貢献

令和7年度 本牧地区センター 収支予算書兼決算書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	24,685,000		24,685,000		24,685,000	横浜市より
緊急雇用創出事業経費			0		0	
利用料金収入	4,100,000		4,100,000		4,100,000	
自主事業（指定管理料充当）収入	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
印刷代	70,000		70,000		70,000	
自動販売機手数料	600,000		600,000		600,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他(カラオケ他貸出備品)	330,000		330,000		330,000	
収入合計	31,585,000	0	31,585,000	0	31,585,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,925,000	0	23,925,000	0	23,925,000	
給与・賃金	21,538,000		21,538,000		21,538,000	館長・副館長及び時給職員17名
社会保険料	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
通勤手当	400,000		400,000		400,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	204,000		204,000		204,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	183,000		183,000		183,000	
事務費	940,760	0	940,760	0	940,760	
旅費	10,000		10,000		10,000	出張旅費
消耗品費	100,000		100,000		100,000	事務消耗品費
会議賄い費	15,000		15,000		15,000	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	300,000		300,000		300,000	データ通信費、電話代、郵送料等
使用料及び賃借料	122,760	0	122,760	0	122,760	
横浜市への支払分	122,760		122,760		122,760	目的外使用料等
その他	0		0		0	
備品購入費	90,000		90,000		90,000	1件30千円以上の什器備品
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000		33,000	傷害賠償保険他
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	講師外部委託費用等
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	120,000		120,000		120,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	口座証明、第三者評価他
地域協力費	10,000		10,000		10,000	地域イベントの協力費等
事業費	2,300,000	0	2,300,000	0	2,300,000	
自主事業（指定管理料充当）費	2,300,000		2,300,000		2,300,000	
自主事業費			0		0	
管理費	889,240	0	889,240	0	889,240	
光熱水費	80,000	0	80,000	0	80,000	
電気料金	80,000		80,000		80,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	0		0		0	日常・定期清掃費
修繕費	600,000		600,000		600,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	209,240	0	209,240	0	209,240	
空調衛生設備保守	9,240		9,240		9,240	ウオータークーラ水質検査
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	200,000		200,000		200,000	ゴミルート回収他
共益費	0		0		0	
公租公課	1,930,000	0	1,930,000	0	1,930,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,930,000		1,930,000		1,930,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費	300,000	0	300,000	0	300,000	
本部分	300,000		300,000		300,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
ニーズ対応費	1,300,000		1,300,000		1,300,000	ネット予約経費を含む
支出合計	31,585,000	0	31,585,000	0	31,585,000	
差引	0	0	0	0	0	

目標設定の 視 点		計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
利用者サ- ビス		(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映			
		■利用者ニーズの把握方法(P.12)			
		●ご意見箱・横浜市民の声/随時			
		●アンケート 利用団体/随時 利用者/年1回			
		●会合への参加(自治会等)/年2回			
		●中区他施設との情報共有			
		■苦情対応体制の構築と苦情対応(P.12)			
		●苦情対応マニュアルの更新/年1回			
		●苦情等のデータ化/随時			
業務運営		オ 利用者サービス向上の取組(P.12)			
		■全職員の資質向上による利用者対応			
		●業務マニュアルの更新/年1 回			
		■施設の魅力向上・利便性向上の取組み			
		●お湯ポットの設置			
		●空気清浄器の設置/プレイルーム			
		●不用品交換の掲示板設置			
		●チェス・UNO・知恵の輪、等の無料貸出し			
		●健康やボランティアに関する情報を整備			
		●障がい者によるパンの販売 (オリプ工房からの出張販売)			
		●血圧測定器・体重計の設置			
		■快適な利用環境の提供			
		●巡回清掃/日3回、6S活動の徹底			
		●塩素系溶液による清掃/随時 (主に茶器、什器備品)			
		●老眼鏡の設置			
		●受付に耳マーク・筆談機の設置			
		■無料Wi-Fiスポットの設置			
		●設備更新による接続環境の改善/対象年齢の見直し			
		(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制			
		■管理運営体制			
		●館長/1名			
		●副館長/2名			
		●コミュニティスタッフ/12名			
		●クリーンスタッフ/2名			
		■情報共有と業務品質確保に向けた会議(P.6)			
		●朝礼/毎日			
		●安全衛生推進会議/月1 回			
		●運営会議/月1 回 (館長・副館長、本社統括担当者等)			
		●館長連絡会議/年4 回 (清光社主管 地区センター館長会議)			
		●地区センター委員会/年2 回 初回は35周年記念の利用者合同会議を企画			
		●利用者会議/年2回			
		ウ 緊急時の体制と対応計画(P.9)			
		■施設設備の故障、事故、犯罪等を予防する具体的な計画や体制			
		●危険源改善箇所申告書の更新/毎月			
		●危機管理マニュアルの更新/年1回			
		■防災計画を踏まえた発災時対応や防災への取組み			
		● 防災訓練の実施/年2回			
		●AED講習の受講/全職員、資格全員取得			
		●富士山火山活動時の活動用具の準備			
		(4)ア 設置理念を実現する運営内容(P.10)			
		■目標数値の設定			
		●利用者数/年 75,000人			
		●稼働率 53% (コマベース)			
		●指定管理者有責事項/0件			
		■品質確保のセルフモニタリングの実施			
		●館長/月1回			
		●統括担当者/年1回			

目標設定の 視 点		計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
	イ 利用促進策 (P.10)				
	■多様な広報活動・利用促進活動の実施				
		●広報よこはま中区版/毎月			
		●地区センターだより/四半期ごと			
		●ホームページ/随時			
		●ポータルサイト/随時			
		●テレビ神奈川・神奈川新聞、タウンニュース等/随時			
		●ポスティング/随時			
		●施設利用説明会/随時			
	■新規サークル設立支援				
		●新規サークル設立			
	■読書活動推進の取組み				
		●読書フェスティバルへの参加			
		●中図書館との連携			
		●市民読書の日に読み聞かせイベント、夜の読書会(成人対象)を実施			
	■日常運営の創意工夫による利用促進の取組み				
		●期間限定で予約のないロビー(1F,2F)を学習スペースとして開放/随時			
		●季節に合わせた館内装飾(正月、七夕、クリスマス等)			
		●活動条件により利用優先回数を拡大			
		●作品展示・活動発表(地区センターフェスタ以外)の拡充			
	ウ 利用料金の設定について				
	■利用料金設定について				
		●当日の1時間単価貸し			
	■利用促進につなげる割引等の実施				
		●スタンプカード割引の導入 和室、料理室			
		●新規サークル優先予約			
		学割(高校生・大学生学生証の提示10%割引			
		夜間割引(夜間の稼働率向上の為(10%)			
		住民票等区役所で発行する各種証明書郵送セット			
		印紙、切手の用意			
	キ 本市重要施策に対する取組 (P.13)				
	■情報公開				
		●事業計画書/年1回			
		●事業報告書/年1回			
		上記をホームページで公開			
	■環境への配慮				
		●緑のカーテンの設置/夏季年1回			
		●うちわの設置/夏季年1回			
	■市内中小企業優先発注/随時				
		●市内中小企業優先発注/随時			
	■地元中学校の職業体験受入/年1回				
		●地元中学校の職業体験受入/年1回 (個別に対象校にアプローチ)			
	■食育・地産地消の取組み				
		●地元食材を活用した料理教室の実施			
	(5) 自主事業計画				
	■インフォメーションボードの設置 (P.14)				
		●ボランティア・サークル団体等の紹介/年1回			
	■本牧地区センターまつりを秋または春に実施。年1回				
		●中図書館・オリブ工房との連携開催			
	■アウトリーチ活動/年1回				
		●山頂公園、本もく座との連携			
	■自主事業計画				
		●年285回(自主事業計画参照)			
	(6) 施設の維持管理計画				
	■維持管理年間作業計画の策定 (P.15)				
		中図書館の計画に協力			
	■貸出備品の保守点検業務 (P.15)				
		●備品管理簿の照合/年1回			

目標設定の 視 点		計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
教育		事業計画書 (3)イ 個人情報保護等の体制と研修計画			
		■個人情報保護責任者の設置(P.8)			
		●館長を個人情報保護責任者として任命			
		■個人情報保護マニュアルの整備と遵守			
		●個人情報保護マニュアルの更新/年1回			
		●理解度チェックテストの実施/年1回			
		●機密保持誓約書の取り交わし/入社時			
		■個人情報漏洩対策			
		●個人情報漏洩賠償保険の加入/年1回			
		■セルフモニタリング・監査の実施			
		●統括責任者/年1回			
		■研修体制・具体的な計画(P.8)			
		●指定管理者知識研修/年1回			
		●人権研修/年1回			
		●接遇向上研修/年1回			
		●個人情報保護研修/年1回			
		●コンプライアンス研修/年1回			
		●サービス介助研修/年1回			
		●障がい者対応研修/年1回 (オリプ工房との連携)			
		●防災訓練・避難訓練・事故対応訓練/年2回			
		●公共建築物管理者研修/年1回			
		●横浜市の事例発表会/年1回			
		●安全衛生管理者会議/年4回			
		■資格取得支援			
		●サービス介助士/1名 (館長・副館長の資格取得を目指す)			
		●横浜防災ライセンスリーダー (館長・副館長の資格取得を目指す)			
財務		事業計画 (7)ア 収入計画の考え方(P.16)			
		■収入計画の設定			
		●利用料金/4,100千円			
		●自主事業収入/1,800千円			
		●雑入/935千円			
		イ 増収策について(P.16)			
		■雑入の増収策			
		●文房具の販売			
		●ケータイ充電サービス			
		●バナー広告/2件			
		ウ 支出計画(P.17)			
		■支出計画管理体制の構築			
		●原価管理分析と改善徹底/月1回			
		■自主事業での工夫			
		●魅力ある講座設定と参加料の設定			
		■収入利益の還元			
		●社会福祉協議会等への寄付/10万円			
その他 (上記4つの 視点以外の 項目があれば追記)		■地域まつり、イベント等への参加			
		●インターネット予約の導入			
		■地域まつり、イベント等への参加			
利用者等の 意見		地域活動・イベントへの参加 (さくら祭り、かぼちゃ祭り、お馬流し他)			
		■利用者の意見			
		●利用者からの意見・要望はできるだけ迅速に対応			
			ご意見の内容	対応方向	

《自己評価》
A:計画、目標を上回って実施
B:計画、目標を保持して実施
C:計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組(改善計画)欄に意見等に対する対応を記載